

**スタートアップ振興に向けた
経団連の取り組み
- Keidanren for Startups -**

2025年12月2日

一般社団法人 日本経済団体連合会 スタートアップ委員会企画部会長
BIPROGY株式会社 代表取締役社長 CEO
齊藤 昇

スタートアップ躍進ビジョン

Why
Startup ?

社会課題の解決やイノベーションを生む
仕組みとして最も優れたスキームの一つ

2022年3月15日

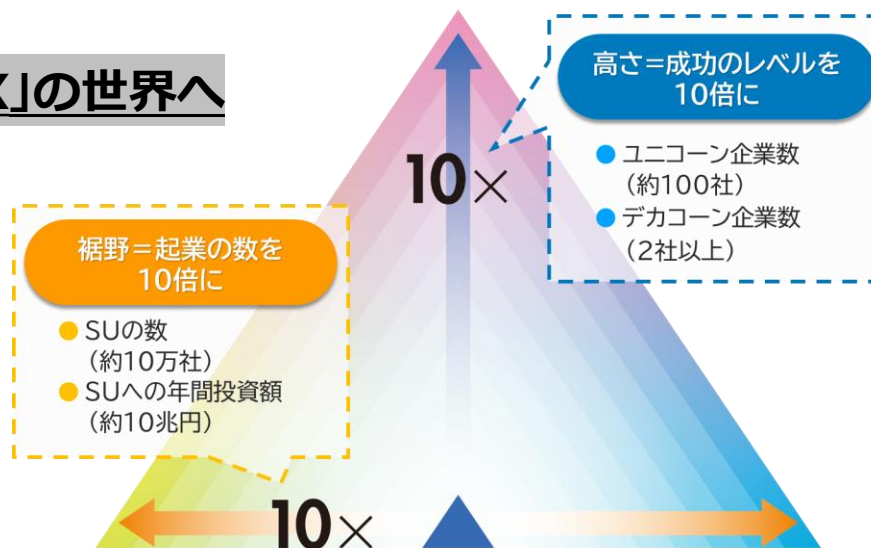
提言「スタートアップ躍進ビジョン」を公表

日本経済全体を浮揚させ、再度競争力を取り戻すための最も重要な課題として

スタートアップエコシステムの抜本的強化を提言

景気変動に関わらず、**官民を挙げて必要な施策を一斉に、迅速に、力強く推進**

2027年の目標：「10X10X」の世界へ



躍進ビジョンが大きな動きを創出

2022年3月

経団連「スタートアップ躍進ビジョン」

2022年6月

「骨太方針2022」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」

自民党「スタートアップ育成5か年計画に向けた提言」

2022年11月

「スタートアップ育成5か年計画」

東京都「Global Innovation
with STARTUPS」

2023年5月

自民党「『スタートアップ育成5か年計画』の実現に向けた提言」

2023年6月

「骨太方針」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023年改訂版」

2024年6月

「骨太方針」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版」

2025年6月

「骨太方針」 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版」

10X10Xの現在地

- 政府施策によるモメンタムの形成により裾野は着実に拡大。
厳しい市況が続き資金調達額は横ばいだが、
そうした中でも**大型の調達案件が増加**。
- **ユニコーン企業数は年々増加しているが、
高さを強力に引き上げるにはさらなる打ち手が必要。**

(参考)
1社あたりの資金調達額傾向

	平均値	中央値
2021	2.6億円	4,610万円
2023	2.5億円	5,000万円
2024	3.1億円	7,760万円

裾野＝起業の数を10倍に		
	スタートアップ数	年間投資額
2021	16,100社	8,827億円
2023	22,000社	8,139億円
2024	25,000社	7,793億円

高さ＝成功のレベルを10倍に		
	ユニコーン企業数	デカコーン企業数
2021	6社	0社
2023	7社	0社
2024	8社	0社

← × 1.6

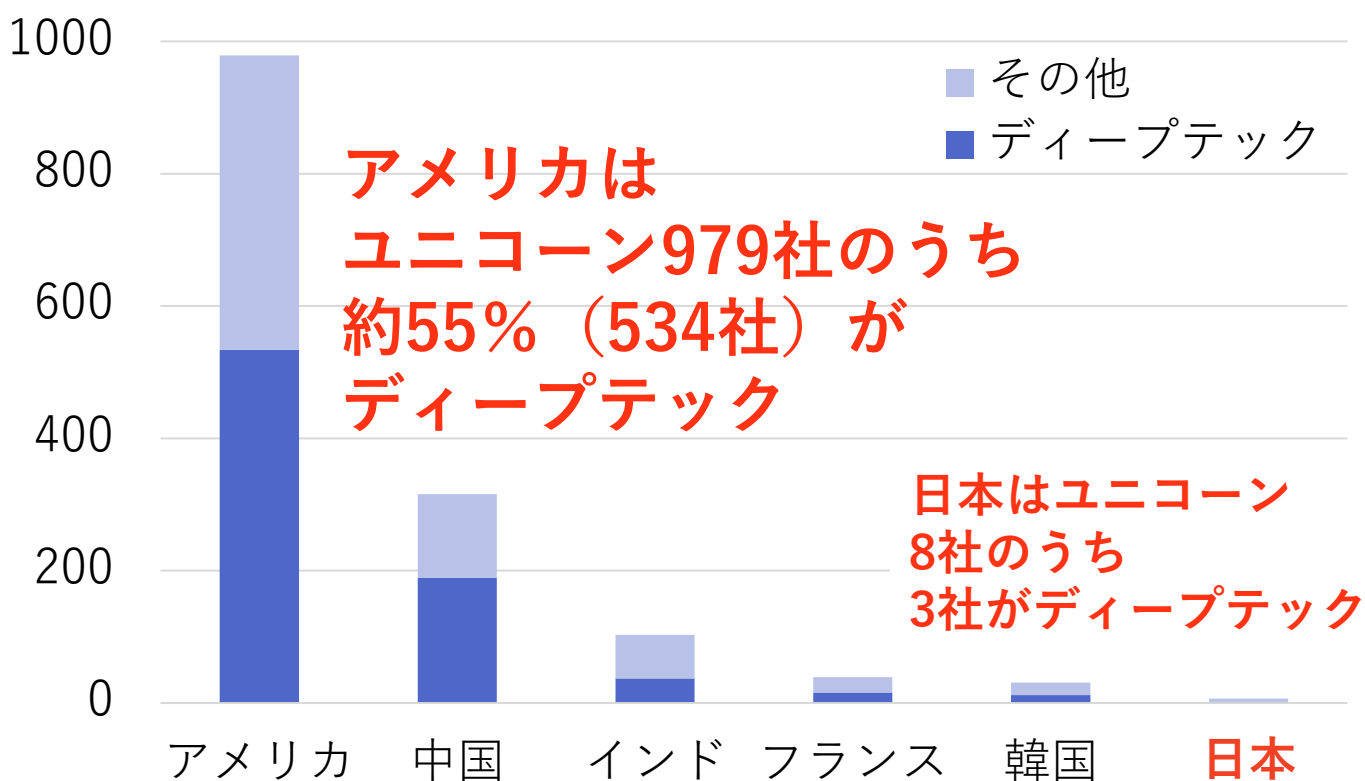
↑ × 1.3

(出所)
スタートアップ数 UZABASE「スピーダ」
フォースタートアップス「STARTUP DB」
年間投資額 INITIAL「Japan Startup Finance 2024」
ユニコーン企業数 CB Insights

提言「Science to Startup」

- 高さを引き上げるためのカギは、ユニコーン級に成長するポテンシャルを秘めるディープテック。
- 日本の研究力の低下に対する指摘もあるが、世界に勝てる研究は多数存在。
しかしその強みをスタートアップを通じて社会実装するパスが未整備。
- そこで、**スタートアップを通じた高水準な研究の社会実装＝Science to Startup**の実現に必要な施策を提言。

ユニコーン企業数に占めるディープテック企業数の割合



Science to Startupのパス整備に向けた具体的政策

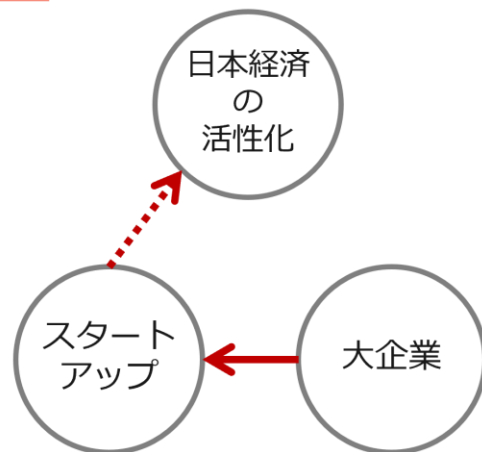
1. 大学の知の能動的な掘り起こし
(プロフェッショナルチームの組成支援)
2. 大学におけるモメンタムの醸成
3. カスタマーディスカバリーの導入
4. グローバルのパスを活用した成功事例の創出
5. 政府支援の効果最大化
6. より世界に開かれたエコシステムの形成
7. Science to Startupを加速する人材育成

スタートアップフレンドリースコアリング

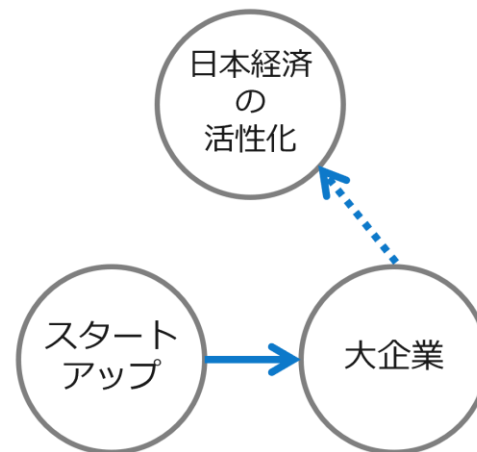
- 経団連が経済界全体の行動変容を促すべく策定した「スタートアップフレンドリースコアリング」は、アンケートへの回答（1,000点満点）によって**企業の活動を点数化**する取り組み。2022年度に開始。
- スコアリングを構成する3つの視点は、スタートアップエコシステムに重要であると同時に、**大企業がよりイノベーターになるために不可欠な観点**。
- 第1回150社、第2回148社、第3回111社が参加し**参加企業数は合計220社**となった。
- このうち**3回すべて参加した企業（フルエントリー企業）60社の平均スコアは、1,000点満点中373.9点→388.1点→403.2点と逡増**。大企業の行動変容が着々と進展。

経団連「スタートアップフレンドリースコアリング」の3つの視点

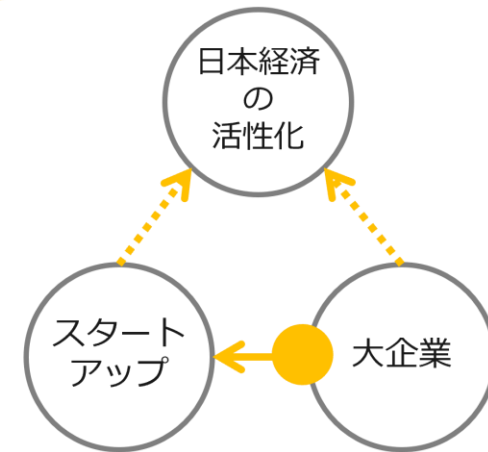
1 リソース提供



2 事業・人材の取り込み



3 事業・人材の輩出



これまでのスコアトップ10社

	第1回（2022年度）	第2回（2023年度）	第3回（2024年度）
1	KDDI	KDDI	KDDI
2	ディー・エヌ・エー	電通グループ	電通グループ
3	東京海上ホールディングス	ディー・エヌ・エー	BIPROGY
4	凸版印刷	BIPROGY	三菱地所
5	BEENOS	三菱地所	ディー・エヌ・エー
6	リコー	TOPPANホールディングス	日立製作所
7	第一生命ホールディングス	三菱UFJ フィナンシャル・グループ	三菱UFJ フィナンシャル・グループ
8	三井不動産	日本生命保険	日本電信電話
9	コマツ	東京海上ホールディングス	日本電気
10	野村ホールディングス	ANAホールディングス	TOPPANホールディングス

KIXの定期開催

大企業とスタートアップの連携を促進するため、大企業側の参加者を**意思決定権者（部長級以上）**とするピッチイベント「**Keidanren Innovation Crossing (KIX)**」を2019年10月から定期開催。2025年11月までに累計**53回**開催・延べ約**360社**が登壇。



対象分野の例	AI／データ分析 ロボット／ドローン／センシング ヘルステック・バイオ SaaS	農業・食品 宇宙 HR Tech クリエイティブ etc
コラボレーション先の例 （五十音順）	ILS（イノベーションリーダーズサミット） 大阪産業局・ナレッジキャピタル 沖縄科学技術大学院大学 キャナルベンチャーズ 九州経済連合会 京都大学 Google 経済産業省（J-Startup） CiP協議会 シリコンバレー・ジャパン・プラットフォーム ゼロワンブースター	東京工業大学（現：東京科学大学） 東京証券取引所／日本取引所グループ 東京大学・東大IPC 東北大学・東北大学ベンチャーパートナーズ Beyond Next Ventures フォースタートアップス 福岡県 Plug and Play 北海道大学 リアルテックホールディングス etc

KIXの模様



進行：齊藤昇 企画部会長
(BIPROGY社長)

第1回 2019/10/1

VISITS Technologies
松本CEO



第9回 2022/5/24

Wamazing
加藤代表取締役CEO



第4回 2020/1/30
with J-Startup

シナモン 平野CEO



第6回
2021/12/10

グリーンエース
石川社長



第20回
2023/9/13

With Midwife
岸畑代表取締役



参考リンク

- スタートアップ委員会活動 特集ページ
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp.html>
- 提言「スタートアップ躍進ビジョン」 (2022年3月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/024.html>
- 提言「Science to Startup」 (2024年9月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/2024/060.html>
- 躍進ビジョンレビューブック2025 (2025年5月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/reviewbook2025.pdf>
- スタートアップフレンドリースコアリング
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp.html#scoring>
- 第3回スタートアップフレンドリースコアリングの結果概要 (2025年5月)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/scoring-kigyo2024.pdf>
- Keidanren Innovation Crossing (KIX)
<https://www.keidanren.or.jp/policy/StartUp/KIX.html>

お問い合わせ先

経団連 産業技術本部（スタートアップ担当）

venture@keidanren.or.jp

経団連スタートアップページ

